

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 4日更新

事務事業名		支出(歳出)事務		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	1	自治の健全	所属部	会計	課長名	坂本 浩一郎
	施策	2	行政経営の推進・改革	所属課	会計課	担当者名	吉原裕人・岡島さくら
	業務分野	8	会計の適正な処理	所属班	会計班	(内線)	1002
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 8	事業連番	11148
				法令根拠	地方自治法、合志市会計規則		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	合志市の支出(歳出)に関する事務であり、地方自治法及び合志市会計規則に基づき実施している。一般社団法人全国銀行資金決済ネットワークが定める内国為替制度運営費が2024年10月より公金振込にも適用され、指定金融機関への公金振込手数料が有料化された。
【業務の流れ】	①支出負担行為決議書及び支出命令書の審査 ②債権者の登録 ③決裁後の支出命令の整理と支払い準備 ④支出データ作成 ⑤データ伝送処理
【主な予算費目】	職員手当等・旅費・需用費(消耗品費)・負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

合志市の支出(歳出)に関する事務(帳票の審査・債権者登録・口座振込データDVD作成等)を行った。
 R6年度実績 計32,668枚(R7.5.8現在)
 【負担行為】8,209枚 【支出命令】8,964枚 【兼命令】13,740枚
 【精算】1,668枚 【戻入(支出)】3枚 【戻入(兼命令)】84枚

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

合志市の支出(歳出)に関する事務
 公金振込手数料の有料化に伴う事務
 口座振込のデータ伝送
 財務会計システムの電子決済導入

③予算の主な増減の理由

公金振込手数料の増額に伴う役務費の増

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 例月出納検査時の指摘件数	件	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標		ア 件	18	12	0	13	0	0	0	0
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,026	2,756	4,403	5,514	13,422	13,422	13,422	13,422
(A)事業費計		千円	1,026	2,756	4,403	5,514	13,422	13,422	13,422	13,422

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)法及びマニュアルに基づき審査を正確に執行している。

<成果向上の余地>
 会計課で書類を適正に審査し、財務実務マニュアルの改正及び周知徹底を図ることで、向上の余地がある。

<事業費削減の余地>
 最低限の必要経費を計上しており、削減の余地はない。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)